

令和3年度

教育委員会の事務執行に関する評価

(令和2年度対象)

令和3年11月16日

みやこ町教育委員会

# 目次

## みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動	3
II 教育委員会が管理・執行する事務	5
III 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	9
1 学校教育における学習環境の充実	10
2 生涯学習のための環境整備	33
3 図書館の整備・充実	42
4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用	47
5 文化芸術振興活動の推進	56
6 スポーツ・レクリエーションの推進	59
外部評価委員会の所見	71

## 教育委員会の事務執行に関する評価の概要

### 1. 教育委員会の事務の点検・評価制度について

平成20年4月から施行された『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正により、教育委員会は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理および執行の状況について、自己点検および評価を行い、報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

みやこ町教育委員会では、地域の教育課題や教育ニーズに応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これらに基づいて実施した政策について、その「必要性」、「効率性」等の観点から自ら「点検」・「評価」・「公表」することは、町民に対する説明責任を果たすことにつながり、これによって町民の信頼を高め、開かれた教育行政を推進していく上で非常に重要なことであると考えております。

このことを踏まえて、令和2年度の教育委員会活動を

- I 「教育委員会の活動」
- II 「教育委員会が管理・執行する事務」
- III 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」

の3点から、教育委員会自らがその進捗状況・達成状況等について、点検・評価を実施し、報告書を作成しました。

## 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

評 価 判 断 基 準

A 達成できた	B おおむね達成できた	C 達成できなかった
---------	-------------	------------

みやこ町教育委員会の自己点検・評価

I 教育委員会の活動

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

評 価 項 目	指 標	評 価	点 検 ・ 評 価	外 部 評 価
(1) 教育委員会の会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	A (A)	○ 定例会を8回実施した。	臨時会があれば示して欲しい。
	② 教育委員会会議の運営上の工夫	A (A)	○ 教育委員会の会議における案件については、事務局により提案し、学校教育課長及び生涯学習課長が説明し、詳細説明については、それぞれの係長等が補足説明を行っている。	
(2) 教育委員会会議の公開、保護者や地域住民への情報発信	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	B (B)	○ 傍聴者0名 ホームページに開催日時を掲載し、傍聴を促している。	今後もHP等で啓発を継続することを期待する。
	② 議事録の公開、広報・公聴活動の状況	A (A)	○ 議事録は、情報公開条例に基づいて公表するようにしている。  ○ 教育委員会議事録をホームページに掲載し公表している。	HPだけでなく、町広報誌でも議事等の内容を公表することの継続を期待する。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(3) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京築地区で開催された教育委員対象の研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・京築地区市町教育委員会教育委員等研修会 10/23</li> <li>・京築教育事務所管内市町教育委員会教育委員等人権教育研修会 10/23</li> </ul> </li> <li>○ 教育委員を対象にした研修会に参加した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村教育委員会オンライン協議会 2/17</li> </ul> </li> </ul>	
(4) 学校及び教育施設に対する支援・条件整備	① 学校訪問	B (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 卒業式、運動会等の学校行事に参加した。</li> <li>○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校訪問や研究発表会への参加は行われなかった。</li> </ul>	早期の再開を期待する。
	② 所管施設の訪問	B (A)	○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各施設で行われる生涯学習課行事や体育協会等の行事への参加は行われなかった。	

## II 教育委員会が管理・執行する事務

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること		A (A)	○ みやこ町教育施策について審議を行い、策定し、各学校に説明、配布した。	学校内での具体化を期待している。
(2) 教育委員会規則及び規定を制定し、又は改廃すること。		A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みやこ町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・ 独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金の徴収に関する規則の制定について</li> <li>・ みやこ町立学校児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則について</li> <li>・ みやこ町教育委員会外部評価委員会の設置に関する規則を廃止する規則の制定について</li> <li>・ みやこ町学校給食センター運営委員会規則を廃止する規則について</li> <li>・ みやこ町教育委員会の公印に関する規則の一部を改正する規則について</li> </ul>	時代の状況に応じて常に見直しが行われていることは評価したい。

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町教育委員会の権限に属する職場におけるハラスメント防止に関する規程の制定について</li> <li>・みやこ町公民館使用料の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町学習等供用施設使用料の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町総合文化センター使用料の減免に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町立学校管理規則の一部を改正する規則の制定について</li> <li>・みやこ町体育施設の設置及び管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について</li> </ul>	
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること		A (A)	○ 教育委員会に新年度の主要な予算について報告。	
(4) 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること		/	○ 該当なし。	

評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事		A (A)	○ 管理職人事、人事異動に係る内申を行った。	
(6) 教育委員会の所管に属する19の委員会委員の任命又は委嘱に関する事		A (A)	○ 職務の遂行が期待できる適任者の選定に努めた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校評議員</li> <li>・ 外部評価委員</li> <li>・ 学校医</li> <li>・ 学校歯科医</li> <li>・ 学校薬剤師</li> <li>・ 学校ICT教育推進委員</li> <li>・ みやこ町通学路安全対策推進協議会委員</li> <li>・ みやこ町学校給食センター運営委員</li> <li>・ みやこ町学校給食物資選定委員</li> <li>・ みやこ町学校給食献立委員</li> <li>・ みやこ町社会教育委員</li> <li>・ みやこ町公民館運営審議会委員</li> <li>・ みやこ町歴史民俗博物館運営委員会委員</li> <li>・ みやこ町歴史民俗博物館専門委員会委員</li> <li>・ みやこ町スポーツ推進委員会委員</li> </ul>	日常的に人材情報の収集を行い、人材確保と任命を継続することを期待する。



評価項目	指標	評価	点検・評価	外部評価
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・みやこ町スポーツ推進審議会委員</li> <li>・みやこ町図書館協議会委員</li> <li>・みやこ町子ども読書活動推進計画審議会委員</li> </ul>	
(7) 教科用図書の採択の決定に関する事		A (A)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年度使用中学校教科用図書について採択した。</li> <li>○ 令和3年度小学校の一部の特別支援学級で使用する教科用図書について採択した。</li> </ul>	
(8) 通学区域を設定し、又は変更すること		/	○ 該当なし。	
(9) 文化財を指定し、又は指定を解除すること		/	○ 該当なし。	
(10) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事		/	○ 該当なし。	

### Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

子どもたちが、ふるさとで学び、育ちそして大人になった時ふるさと・みやこ町への愛着と誇りとともに、平和を愛する気持ちを持ち続けることが大切だと考えます。

そのため、生命を大切に作る心を育てる教育の推進、「みやこ」ならではの文化を活かした活動や、学力の充実・向上、家庭の子育て支援などにより、次世代を担う子供を育てていきます。

また、生涯学習の推進に当たっては、住民一人ひとりのさまざまなニーズに応じて、住民が主体的に、“いつでも・どこでも・だれでも・なんでも”学ぶことができる学習の場づくりや情報提供を行います。

さらに、地域に伝わる歴史や伝統文化を継承し、活用するとともに、住民の主体的な文化・芸術活動を支援し、文化の薫り高いまちづくりに努めます。

※ 評価項目は、「みやこ町第2次総合計画」の基本計画に示された主要事業及び教育委員会で策定した「平成29年度みやこ町教育施策リーフレット」の主要事業をもとに作成しています。

有 効 性	効 率 性	達 成 度	総 合 評 価
事業が目標達成に有効であるかを評価する。	事業が効率的に実施できたかを評価する。	計画通り達成しているかを評価する。	3つの評価項目を勘案し、総合的に評価を行う。
<b>評 価 判 断 基 準</b>			
A 有効である	A 実施できている	A 期待を上回る	A 達成できた
B おおむね有効である	B おおむね実施できている	B おおむね期待どおり	B おおむね達成できた
C あまり有効でない	C 実施できていない	C 期待を下回る	C 達成できなかった

1 学校教育における学習環境の充実

○施策の方針

「自分のよさに気付き、なりたい自分を見つけ、志を持って成長していく子ども」を育てるため、小中連携教育を推進し、国際理解教育の一環として英語教育の充実に努め、今後の複雑化・多様化する教育的ニーズにこたえる教育環境の充実に努めるとともに、学校施設の再編整備・充実、チームとしての学校体制の整備に努めます。また、子どもの成長を見守る環境を作り、子どもの安全確保に努めます。学校給食については、関係機関との連携の下、地場農産物の利用を進め、子どもの健康を守る取組を推進します。

主要施策 ①子どもの教育環境の充実

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
チームとしての学校づくり	心理や福祉など多様な専門家の配置の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町雇用でスクールソーシャルワーカーを雇用（週1日）し、必要な学校の児童・生徒、保護者の対応を行った。</li> <li>○ 教育相談員1名を配置したが、病休のため学校への巡回指導等が行えなかった。</li> <li>○ スクールカウンセラーを町予算で確保し、学級担任と連携して児童・生徒・保護者等の教育相談に活用した。</li> <li>○ 合理的配慮配慮協力員2名を町予算で雇用し、各小中学校の通級指導教室で学級担任と連携して児童・生徒の指導を行った。</li> <li>○ 特別に支援を要する児童生徒に対する合理的配慮を行うため、発達検査を実施した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別な支援が必要な児童生徒への支援体制は充実してきたが、児童生徒を取り巻く環境はますます多様化しており、専門家の重要度も増している。</li> </ul> <p>今後も継続した事業の充実に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>専門家における人的確保を計画的に進めていることは評価できる。今後も継続的に実施することを期待したい。</p> <p>特別な支援を要する児童生徒が増加の傾向にある中、専門家を多く雇用し、適切な指導が行われていることを評価したい。今後の継続と充実に期待する。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	関係機関との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 行橋市適応指導教室と連携を図り、不登校生徒1名の支援を行った。</li> <li>○ みやこ町要保護児童対策地域協議会での情報交換の会議に、年間6回担当指導主事・教育相談員・SSWが参加し連携が充実した。</li> <li>○ 京築児童相談所や行橋警察署、京築保健福祉環境事務所家庭児童相談員等関係機関との連携がケース会議を通して充実した。</li> <li>○ 特別支援学校、みやこ町療育教室、社会福祉協議会等との連携を図った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 関係機関との連携は充実してきている。学校のみで解決困難な事案は多くあり、今後も継続した連携の強化が必要である。さらに、情報共有が主な連携にとどまらず、具体的な支援につなげる取組が必要である。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	意図的・計画的に関係機関との連携が進んでいることを評価したい。
	家庭・地域との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みやこ町教育委員会主導であった、家庭向けリーフレット「STOPスマホ」の全保護者へ配付やスマホの使用についての家庭でのルール作りの啓発を各学校や各中学校区でPTAと連携した取組に移行した。「Noテレビ・Noゲーム」「STOPスマホ」を各中学校区で実施し、小中で連携した取組として、生活習慣や学習習慣の確立を図った。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	家庭や地域を巻き込んだため取組みが充実していると共に、家庭や地域の意識の変化が期待できる。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 各中学校区間の取組の温度差もあるが、校区の取組として定着させることで、校区の状況にあった取組の方法や、小学校から中学校までの連続した取組として今後も継続する必要がある。そのことで、小学校と中学校、PTA・家庭との連携がさらに進むと考えている。</p>					
9年間を見通した教育の充実	小中連携教育の推進	<p>○ H26年度からH28年度「小中一貫教育指定校事業」、H29年度から「小中連携教育指定校事業」に移行し、町内3地区小中学校及び小学校間の共通した取組が一定程度定着した。</p> <p><b>【共通した取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中教職員合同研修会や出前授業、授業研究、学習規律や生徒指導の共通した取組は継続されたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、児童生徒の交流や大人数での研修等は実施出来ていない。</li> </ul> <p>○ 町内3中学校区の取組として、各校区の主体的な取組の充実を図っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 町内3地区が地域の状況に応じた取組を工夫しており、さらに校区別の主体的な取組の充実を促したい。また、昨年指摘のあった地区間の取り組みの相違が、格差とならないよう事業を進める必要がある。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	基礎学力向上に向けた教育活動の充実	<p>○ 基礎基本の定着と集中力の育成を目指して、町内の全小学校でメソッドタイムを設定、実施するとともに、定期的に検証テストを行った。福岡県学力アップ推進事業との連携を図り、みやこ町学力検証委員会の活性化を図った。</p> <p>○ みやこ町予算で小学校1年生から6年生に漢字ドリル「全漢字練習」および算数ドリル「とじ書きこみ計算スーパースキル」を配布し、学力向上ドリル事業を実施した。</p> <p>○ 若年教員の指導力向上のための町主催の授業研修を年間通して行う。</p> <p>○ 児童生徒に対するきめ細かな指導を実施するため、以下のようなみやこ町雇用教員の配置を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 35人学級実施のための常勤講師 (小学校1名、中学校2名)</li> <li>・ 35人学級実施のための非常勤講師 (小学校2名)</li> <li>・ 複式学級対応のための非常勤講師 (小学校4名)</li> <li>・ 中学校の学習支援に係る非常勤講師 (12名) 勝山中4名で週81時間 豊津中5名で週90時間 犀川中3名で週34.5時間</li> <li>・ 児童生徒支援対応及び児童生徒学習指導 (中学校1名)</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	<p>共有化して協働の取り組む「メソッドタイム」の設定は、効果的であると考えてるので、徹底と継続を期待する。</p> <p>若年教員の研修会等での成果を自分事として日々の学習指導や教育計画にどのように生かしていくのか、そのシステムの構築を期待する。</p> <p>人的配置の重要性を再確認し、積極的に継続していくことを期待する。</p> <p>児童生徒に対し、きめ細かな指導をおこなうため、町雇用の講師を多く採用、配置していることを評価したい。</p> <p>国は、令和4年度から小学校5・6年生で導入する教科担任制（英語、理科、算数、体育）の教員定数を増やす見込みだが、教員確保に課題がある中、本町での実施を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級における学習指導 (小学校2名)</li> <li>○子どもの学習支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生を対象とし、週1日宿題や復習など自ら自主学習する時間を設ける。中学校区ごとに公共施設を利用し、指導者を派遣している。経済的理由で塾に行けなかったり、家庭学習習慣がなかったりする生徒の支援を行う。県が事業主体となり勝山校区・豊津校区を、みやこ町が事業主体となり犀川校区で実施している。</li> </ul> </li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭と連携し、家庭学習の定着を図る。</li> <li>○小学校での取組が中学校での生徒の学習基盤として表れてきており、継続取組が重要である。若年教員の増加に伴い、指導の基礎・基本を身に着ける教育委員会指導主事による研修を継続・充実することが重要である。</li> <li>○慢性的な教員不足もあり、町雇用講師の確保が困難な状態が続いている。</li> </ul>					<p>コロナ禍で、休校、学級閉鎖、分散登校、短縮授業など、子どもの学力保障に課題がみられるが、オンラインによる授業の実施を期待したい。</p> <p>保護者との更なる連携や啓発の継続を期待したい。</p>
	心の教育や体力向上の取組の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を各学校に情報を提供した。</li> <li>○年間を通じた体力向上の年間を通じた取組「1校1取組」を全小中学校で実施している。</li> </ul>	A (A)	B (A)	B (B)	B (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 福岡県スポーツコンテスト「スポコン広場」みんなでダンスへの中学校からの参加は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育活動が制限される中で、応募ができていない。</p> <p>チャレンジランキング大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止され、『代替の「スポコン広場」アイデア募集』みんなでド取組も低調であった。</p> <p>○ 教育活動全体で行う道徳教育を推進するため「別業」を活用した。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 体力向上では、通年の取組「1校1取組」の運動を全小中学校で実施している。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により実施が出来ていない取組があるが、可能な範囲での取組を工夫して実施していきたい。</p> <p>○ みやこ町若年教員研修で道徳の授業の改善に取り組む。</p>					<p>コロナ禍で各事業が随分と制約されているが、再開したときのことを考えて、原点に戻って事業の見直しを行うことも大切である。</p> <p>具体的に何をどのように進めていくのか、ビジョンを持つておく必要がある。</p>
時代を担う人材育成のための教育の充実	国際理解教育・英語教育の推進	<p>○ これからの英語教育の流れは英語4技能化が本流になる。小学5・6年生は2回目、中学1・2年生が3回目の実施。英語4技能検定「GTETC」の実施により、結果分析を踏まえた英語科の授業改善を共通理解し、取り組むことができたことから、基礎学力が全体的に定着してきている。</p>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	<p>成果が現れてきている事業の一つであるので、更なる充実と継続を期待したい。</p>



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 外国語指導助手（ALT）を小中学校に派遣した。特に中学校では、英語4技能化のための学習指導の支援を行った。 派遣人数：小学校2名、中学校1名 派遣時数：小学校1,070時間 中学校668時間</p> <p>○ みやこ町中学生スピーチ大会はコロナ禍のために開催中止。 福岡県中学生英語スピーチコンテストに2名出場し、そのうち1名は優秀賞を受賞した。</p> <p>○ 中学3年生対象の悉皆調査「福岡県中学生英検IBAテスト」の結果、みやこ町全体の平均スコアは712.9ポイントで県・京築と比べても低い。 (県：722.4 京築：715.4) 英検3級以上を取得している生徒の割合も44.9%と低い。 (県：47.8%、京築45.6%)</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後もテスト結果を分析し授業改善を促進し、生徒の英語力の向上を図る。 スピーチコンテストに参加する生徒にとどまらず、全ての生徒のスピーキング能力育成の取組が必要である。</p>					<p>有効なALTの確保が喫緊の課題である。</p> <p>受験しやすい環境づくりと共に、各学校において啓発していくシステムの構築が必要である。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
	キャリア教育の推進	<p>○ 新型コロナウイルスの感染症の感染防止対策や臨時休業による授業時数の問題等から、職場体験学習等の活動や交流を伴う取組が出来ていない。 その中で工夫をして、小・中学校のキャリア形成を図った。</p> <p>○ 小・中学校でキャリアパスポートを活用し、児童生徒の個性を伸長する教育の充実を図った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ キャリアパスポートを活用した実践が小・中学校の各教科・領域に広がっており、継続実践が重要である。</p>	A (B)	B (B)	B (B)	B (B)	新型コロナウイルス感染症防止のため、中止となったイベントが多いが、もう一度キャリア教育の視点から何をねらいとしてどのように推進すればよいのか、その見直しを図っていくことを期待したい。
	郷土を愛する心を育てる教育の充実	<p>○ 地域との連携による「地域のよさ」の発見を目的とした学習の実施が進んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 例年実施していた全小学校高学年による議会傍聴はコロナ禍により実施できなかった。</li> <li>・ 歴史民俗博物館、みやこ町文化遺産、史跡見学の実施。</li> <li>・ 「特別の教科 道徳」の実施により、郷土の伝統と文化を大切にする心の教育に充実を図る。</li> <li>・ 総合的な学習の時間で各校区ごとに地域の産業や先人を取り上げ、郷土への愛着を深める教育を行っている。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (A)	B (A)	道徳科学習の教材として位置づけた教材開発を行っていくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各校区の特徴を学ぶ学習が創意工夫されている。今後さらに、道德教育との関連も図りながら「郷土を愛する心」の指導の充実を図る必要がある。</li> <li>○ 総合的な学習の時間の年間計画が地域を教材とした内容に再編成されており、内容充実が図られている。今後、指導方法を工夫していく必要がある。</li> </ul>					
多様な教育ニーズにこたえる教育の推進	特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の実態や状況に応じた特別支援学級の設置による特別支援教育の充実を図っている。</li> <li>○ 通常の学級に在籍する特別に支援を要する児童生徒の指導に向けた「通級による指導」を実施している。</li> <li>○ 通級による指導の充実を図るため、合理的配慮協力員2名を配置した。</li> <li>○ 適正就学に向けたきめ細かな教育相談を実施している。</li> <li>○ 築城特別支援学校と連携した「障がいのある児童生徒の居住地校交流」を実施した。</li> <li>○ みやこ町特別支援教育研修会を年2回、通級担当教員研修を1回実施した。また、年間を通じ通級担当教員と教育委員会の協議会を実施し、指導の充実を図った。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある児童生徒の合理的配慮は今後さらに充実を図る必要がある。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	人的確保の継続を確実に行うとともに、特別支援学校との連携及び人材育成を計画的に実施すること（県教育センターや附属学校への研修派遣等）を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ 児童生徒の教育相談の充実と、就学の適正化につなげるための家庭・学校が情報共有システムづくりが必要である。					
	不登校児童・生徒への支援の充実	<p>○ 行橋市適応指導教室への入室により、中学校の不登校生徒1名の支援を行った。</p> <p>○ 町雇用のスクールソーシャルワーカーやスクールアドバイザー、県雇用のスクールカウンセラーを小中学校の別なく児童・生徒・保護者等の教育相談に活用した。</p> <p>○ 不登校の児童生徒数や状況を把握し、情報を学校に伝えることで、学校に注意を喚起し、「マンツーマン対応」や「福岡アクション3」の充実した実施を促した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関及び医療機関との連携が進んでいる。</p> <p>○ 長期欠席及び不登校の児童生徒数がH28年度調査からの統計では、R2年度は長期欠席が61名でその内不登校51名と最多数を示している。新型コロナウイルス感染症対策や臨時休業等、児童生徒の心身のストレスの蓄積も要因の一つと考えられるが、きめ細かな対応等の充実を図る必要がある。</p>	B (B)	B (B)	B (B)	B (B)	年々増加の傾向にあるので、不登校に対してその原因や要因を分析し、それらに応じた対策をシステム化していくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校段階では、長期欠席者24名中、病気・その他の理由での欠席者が8名であり、中学校の不登校（36名）につながる傾向が見られる。</li> <li>○ 不登校の復帰・解消が8名あり、例年から比較すると多く見られる。取組の成果も見られて来ている。</li> </ul>					
安全、安心な給食の配食	衛生管理の徹底と安全、安心な給食の配食	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 調理員を対象にした衛生研修会を年3回実施した。</li> <li>○ 配膳業務担当者を対象に衛生研修会を4月に実施した。</li> <li>○ 作業マニュアルに沿った作業を行い、随時見直しをすることで、衛生管理の徹底と調理技術の向上を図っている。</li> <li>○ 町内の全小中学校に、温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べられるように二重食缶を使用して配食した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も衛生面に注意し、おいしい学校給食を提供していく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	
	地場産農産物の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地場産農作物の利用促進を図るために関係機関との連携を深め、学校給食小委員会で毎月会議を開催し「生育状況」や「出荷時期」の情報交換を行い「みやこ町産野菜」の使用に努めた。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	町内生産物の活用割合が高まっていることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 毎月19日は「食育の日」にちなみ、地場産野菜・果物を取り入れた学校給食を配食するとともに、献立表にも地場産野菜を紹介し保護者に啓発を行っている。また、毎日、給食の写真とその日の地場産物をフェイスブックで紹介している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も地場産農産物の使用を推進していく。</p>					毎月19日が「食育の日」ということが周知徹底していった過程や工夫を評価したい。継続した取り組みを期待する。
	食育の推進	<p>○ 「給食カレンダー」を毎週発行し、毎日の献立内容について知らせたいポイントを掲載することで食育の推進が図れた。</p> <p>○ みやこ町の全小学校に対し、栄養教諭が学校訪問を行い、「バランスのよい食べ方」をテーマに食べ物は大切な働きがあり、嫌いな物も工夫して食べるように意識付けを行った。</p> <p>○ H30年9月作成の「学校給食交流試食会実施要領」により学校へ希望を募り、保護者の方に栄養教諭が給食の説明や試食体験をしてもらうことで学校給食に対する理解（学校給食の意義や食の大切さ）を深めた。</p> <p>（実施校） R2.11.30 犀川小学校</p> <p>○ 小・中学校長代表、小・中学校のPTA代表、小・中学校給食担当教諭、学校給食センター職員で構成する献立委員会を8回開催し、「旬の食材を使った献立」、「各県の郷土料理」、「各国の料理」を説明することで連携した取組ができた。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	ICT活用による効果的・効率的な指導方法の在り方を広報していくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 小学校に入学する新1年生の保護者に「学校給食について」（学校給食の目標、栄養管理、使用食材等）の便りを配付し家庭へ周知ができた。</p> <p>○ H25年6月から毎日の給食内容をフェイスブックに投稿し、保護者に子供がどんな給食を食べているか確認できるようにしている。保護者から、「サラダが美味しかったそうです。」「地元産が多くて安心ですね。」「苦手な物も学校では頑張って食べています。」などのコメントが寄せられた。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 今後も栄養教諭による学校訪問を計画的に実施するとともに、引き続き給食の内容等が適切であるか検討していく。</p>					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
学校給食事業公会計への移行	移行準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 保護者あてに「学校給食費についての大切なお知らせ」を配布し、公会計移行について学校と連携し周知を行った。結果、口座振替1111件を登録できた事で、効率的な収納が可能となると共に、保護者の利便性が向上した。</li> <li>○ 給食費管理システム導入に伴い、担当者と協議し、効率的な事務処理に向けた収納管理体制を整えた。</li> <li>○ 令和3年4月1日施行のみやこ町学校給食費条例、みやこ町学校給食費条例施行規則を整備した。</li> <li>○ 令和3年3月に各学校に個人別未納台帳（帳票）の作成を依頼し、私会計時に残った債権の確認を行なった。</li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未納者に対しての効果的な納付指導を検討し、さらに学校との連携や情報の共有を図っていく必要がある。</li> </ul>	A (-)	A (-)	B (-)	A (-)	事務処理に向けた収納管理体制やシステム化が確立していくことを評価したい。



主要施策 ②子どもの健康を守る取組の推進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
食物アレルギーをもつ児童生徒への適切な対応	食物アレルギー対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」を活用して、食物アレルギーをもつ児童生徒が、「安心・安全」な学校生活を送ることができるように努めた。</li> <li>○ 学校との情報交換会を12月7日に開催し、食物アレルギーをもつ児童生徒の状況等について情報を共有し、学校と連携することで食物アレルギー事故の防止に努めた。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食物アレルギーをもつ児童生徒へ適切な対応が図られるように、さらに学校との連携や情報の共有を図っていく必要がある。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	

主要施策 ③学校施設の整備・充実

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進		<p>○ 犀川地区小学校再編整備事業が完了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外構工事(グラウンド整備等)の完了。</li> <li>・ゴミ集積所の完了。</li> <li>・スクールバス乗務員待機所の完了。</li> </ul> <p>○ 豊津地区学校再編整備事業に関する小学校建設予定地の用地等の取得交渉並びに関係工事の着手で、令和6年4月開校をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存プール解体工事の完了。</li> <li>・新校舎建設予定地の用地等取得等の交渉を開始する。</li> <li>・校舎建設予定地の第1期造成工事完了</li> <li>・校舎建設予定地内の町が買収した建物等の解体工事に着手し一部外構工事を実施する。</li> <li>・学校用地内の農業用水路の敷設替え工事の着手</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 豊津地区小学校の校舎建設工事に着手する。また、勝山地区小学校及びみやこ町立中学校の再編整備にあたり、候補地の選定作業を行い統廃合を推進する。</p>	A (A)	A (A)	B (A)	B (A)	地域住民等の理解と協力を得ながら計画的に再編整備が進められていることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
I C T教育推進のため電子黒板等の機器の整備の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ デジタル教科書活用研究指定事業（小学校）及び電子黒板活用研究指定事業（中学校）を実施し、電子黒板、タブレット等の機器を貸与して、I C T機器を活用した授業に取り組んでいる。 （小学校41人、中学校10人）</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>学校の実情や意見を鑑みて整備を進めていくことを期待する。</p> <p>電子黒板、タブレット等を活用した授業に取り組んでいることを評価したい。</p>
※ I C T…情報処理及び情報通信、コンピュータやネットワークに関連する諸分野における技術・産業・設備・サービスなどの総称のこと。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数と国語の指導者用デジタル教科書を小学校全学年分購入した。</li> <li>○ 児童生徒1台タブレット整備に向け、校内LANの整備、学習用コンピューターの購入等を行った。</li> <li>○ I C T機器の活用充実のため、I C T支援員による教員への直接指導を実施した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習用コンピューターの活用した授業やオンライン授業の検討に向け、機器の整備、教員の研修を充実させる。 機器の整備には、多額の予算が見込まれるため購入計画等の策定を行う。</li> </ul>					<p>ハード面の充実と共に、ソフト面の充実も併せて実施することを期待したい。また、I C T活用に関する指導方法の共有化を図っていくことを期待したい。</p>
特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学級及び通級による指導に対して、障害の状況に応じた教材・教具の配置を行った。</li> <li>○ 巡回による通級指導に係る町雇用「合理的配慮協力員」を2名配置した。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>確実な人的配置を今後も行っていくことを期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 新1年生の適正就学に向けて、新一年生及び保護者を対象とした就学相談を実施した。 (相談者13名)</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 平成29年度より開始した中学校の巡回による通級指導の充実を図る。</p> <p>○ 教育環境を充実させるために、教室の整備に取り組む。</p>					

主要施策 ④児童・生徒の安全確保

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
通学路の安全確保		<p>○ 小・中学校から通学路における危険箇所対策一覧表を提出していただき、「みやこ町通学路安全推進協議会」の関係機関に対し、文書で危険個所の対策を要望した。 R2年度要望件数 35件</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関との連携強化を図りながら、今後も継続して危険箇所の改良に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (B)	意図的・計画的な実施を評価したい。
安全見守り活動の充実		<p>○ スクールガードリーダーを各地区（旧町単位）1名の計3名を配置し、登下校時における児童・生徒の安全確保に努めた。また、不審者情報等あった場合は、スクールガードリーダーに連絡し、注意をしながら見守りを行うよう徹底させた。 ・子ども110番の家登録数 392件 ・安全見守り隊登録数 53件</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スクールガードリーダーがより役割を果たせるように関係機関との連携強化を図る。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	スクールガードリーダー間の情報交換や共有化を図るためにも、関係機関との更なる連携を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スクールバスの適切な活用		<p>○ 事務の効率化や関係機関との連携を密にし、安全でスムーズなスクールバスの運行を行った。</p> <p>○ ・R 2年度スクールバス利用者数  犀川小学校 78名  のびのび幼稚園 2名  犀川中学校 2名  伊良原小・中学校 33名  計 115名</p> <p>○ ・部活動の利用状況  勝山中学校 60件  豊津中学校 48件  犀川中学校 30件  計 138件</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 豊津地区の学校再編に向けて、通学手段を確保し、安心安全に通学するためにスクールバスの運行の検討を行う。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	学校統合に関する大切な取り組みであり、今後も継続することを期待したい。

主要施策 ⑤家庭教育力の向上

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組		<p>○ 家庭教育力の向上を図るため、家庭教育支援総合推進事業により、保護者等を対象とした講演会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・犀川中学校：参加者 150名</li> <li>・犀川小学校：参加者 114名</li> <li>・祓郷小学校：参加者 31名</li> </ul> <p>○ 子ども体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>○ 凧づくり体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>○ 親子星空観望会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 家庭教育支援総合推進事業については、保護者の家庭教育力の向上に一定の効果があり、校長会にて呼びかけ継続して事業を行う。</p> <p>○ 親子での体験活動は、親子の絆を深めるのに一定の効果があり、コロナ感染症が収束した後には、内容等を精査し継続する。</p>	A (A)	A (A)	B (A)	B (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
保護者が主体となり、学校との連携した学力の向上、規範意識の向上		<p>○ 文部科学省・県教育委員会からの「学校における携帯電話の取扱い等について（通知）」により「ストップ・スマホ」のリーフレットの内容の再検討を行っており各学校には配布していない。</p> <p>○ 各学校で学校便りや県等のスマホ等の使い方のリーフレット、ゲストティチャーによる授業等を実施し、生活習慣や規範意識の向上に向けた情報提供を行うよう指導した。</p> <p>○ 「ノーテレビ・ノーゲーム」「ストップ・スマホ」など町内で統一から各中学校校区での共通した取組に移行し、各校区での状況に応じた、家庭での指導が行いやすい取組を行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 保護者・児童生徒へスマホやSNSの危険性を各種リーフレットで周知し、ゲストティチャーによる授業等を行っている。今後は、文部科学省や県教委の通知の主旨を理解し、適正な使い方に向けた、学校・家庭での取り組みに移行する必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	スマホの取り扱いに関する考え方も変化しているため、みやこ町としての方針を早急に結論づけていくことを期待したい。
発達段階に合わせた連携・教育の推進		<p>○ 療育教室(たんぽぽ教室)の療育指導者から新就学児童の発達検査の結果の報告を受けた。</p> <p>○ 子育て・健康支援課から保育所巡回等での様子の報告を受けた。</p> <p>○ 関係各機関の情報を学校へ伝え、新就学児童への配慮や特性の把握に活用した。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	関係機関との情報の共有化を評価したい。今後もより効果的な活用を期待したい。



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係機関と情報の共有を図りながら、連携をより強化して、適正な就学ができるように努める。</p>					

## 2 生涯学習のための環境整備

### ○施策の方針

「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」学ぶことができる学習機会を提供するため、公民館活動の充実を図るとともに、社会教育委員会議や公民館運営審議会で、本町の生涯学習の在り方について協議します。また、生涯学習活動の充実のため、広報誌等を通じた情報提供の充実を図るとともに、各地域の優れた技術や経験を持った人材活用や、社会教育団体などの活動を支援します。

### 主要施策 ①「いつでも・どこでも・だれでも・なんでも」 学ぶことができる学習機会の提供

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
ライフステージに応じた学習機会の提供		<p>○ 高齢者大学を次の3地区で開催した。コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数を削減せざるを得なかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勝山たちばな大学 年3回開催、申込者41名 対前年度9名減</li> <li>・犀川地区ふれあい大学 年2回開催、申込者96名 対前年度8名減</li> <li>・城井地区さわやか大学 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> <li>・伊良原地区ふれあい大学 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	<p>意図的・計画的な推進・運営を評価したい。</p> <p>事業が継続出来ているところは評価できる。</p> <p>参加したくなるような、興味を引くような講座内容の企画・立案を期待する。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊津平成学級 年3回開催、申込者40名 対前年度1名減</li> <li>○ 女性学級を次の3地区で開催した。コロナウイルス感染症拡大防止のため実施回数を削減せざるを得なかった。</li> <li>・勝山女性学級 年3回開催、申込者31名 対前年度4名減</li> <li>・犀川女性学級 年2回開催、申込者51名 対前年度12名減</li> <li>・豊津女性学級 年3回開催、申込者34名 対前年度1名減</li> <li>○ ふれあいスポーツ教室 年4回開催、延べ参加者53名 対前年度124名減</li> </ul> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため参加者数を限定し、実施回数を削減せざるを得なかった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 申込者数が年々減少傾向にあるため、統合等も視野に入れて検討していく必要がある。</li> </ul>					<p>コロナ禍の影響もあるが、申込者が減少した要因を分析し、今後の事業の在り方を検討していくことを期待したい。</p> <p>また、開催の在り方も、対面型だけでなく、オンデマンドやリモートなどの配信型も視野に入れての検討を期待したい。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会教育指導員や地域活動指導員を中心に講座内容の充実を図り、多くの方が参加したくなるように、引き続き、魅力のある学級運営に努める。</li> <li>○ コロナ禍においても、オンライン技術などを利用したリモート開催など事業実施のための方策を検討する必要がある。</li> </ul>					
自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化健康講座 コロナウイルス感染症拡大防止のため開催期間や実施回数を削減した。 9月～翌年3月 16講座を開催、 登録者数192名 対前年度240名減</li> <li>○ パソコン講座 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> <li>○ 外国語講座 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 引き続き、社会教育指導員や地域活動指導員を中心に町民のニーズに合った講座内容の充実を図り、魅力のある講座の開催に努める。</li> <li>○ 高度な内容を要望する声がある講座については、自主サークルへの移行を促進する支援を検討する。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (A)	B (A)	各種講座教室の開催の在り方を検討して、多様なニーズに応じていくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ コロナ禍においても、オンライン技術などを利用したりリモート開催など事業実施のための方策を検討する必要がある。					
公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画		○ 公民館まつり コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  《課題・今後の方向性》 コロナ禍において、不特定多数の方が参加するイベントの開催は困難である。 イベントに捕らわれずに公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画を促せる方策を検討する。	A (A)	A (A)	C (B)	C (A)	
人権教育の推進		○ みやこ町人権教育研究会事業として、予定していた学校教育部会及び社会啓発・企業部会主催の研修会は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  ○ 「2020年度実践交流会レポート集」を作成し、これを基に各学校において研修を行い、各学校の取り組みの共有化が図られた。  ○ 毎年各小中学校や役場職員等が参加していたNPO法人主催の人権文化フェスティバルは、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	日々の教育活動の中で人権教育の推進を行っていくことが重要であるので、レポート集の作成・配布は共有化を図る上で評価できる。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 人権男女共同参画室と連携し実施している7月の「福岡県同和問題啓発強調月間」及び12月の「人権週間」関連行事はコロナウイルス感染症拡大防止のため全て中止となった。また、人権啓発チラシ「人権だより」は年5回発行し、町内全戸に配布を行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 特定職業従事者（教職員、社会教育関係職員等）としての自覚を持ち、人権感覚の育成を図る。</p> <p>○ 若年教員や新規採用職員の人権・同和教育の基本的認識を深める研修の充実を図る。</p> <p>○ 人権教育研究会会員に対し、県同教及びNPO法人等主催の研修会や講座等への参加を促していく。</p> <p>○ 女性学級や高齢者大学等の学習機会を活用し、人権教育や啓発活動に努める。</p>					

主要施策 ②生涯学習環境の整備

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
生涯学習情報提供の充実		<p>○ 町広報・防災行政無線・ホームページ等を活用し、高齢者大学、女性学級、文化健康講座等の情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 多くの方に参加していただけるよう、広報誌やホームページ・チラシの配布方法等の工夫に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	ICT活用による情報提供の在り方が多様性を考えていく時期であり、今後の在り方を検討していくことを期待したい。
社会教育団体等への支援と活動の活性化		<p>○ 町子ども会育成連合会・青少年育成町民会議では事務局として参画するとともに、活動助成金等の支援を行っている。</p> <p>(主な子ども会事業)</p> <p>・アジャタ大会、ソフトバレー大会、カルタ大会等多くの事業は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>(青少年育成町民会議事業)</p> <p>・夜間巡回：コロナ禍により、回数削減 3地区×月1回×3カ月</p> <p>○ 町婦人会・諫山校区アンビシャス広場等社会教育団体に活動助成金等の支援を行っている。</p>	A (A)	B (B)	B (A)	B (A)	大会等は中止や縮小となったが、活動支援は継続していくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近年、少子化等の影響により、子ども会の加入者及び子ども会事業の参加者が減少している中、より魅力ある子ども会活動の実現に向け、子ども会役員と連携し、事業内容等の見直しを検討していく。</li> <li>○ 地域の活性化等につながる社会教育団体の活動については、引き続き支援していくが、今後の団体の在り方や町の支援等については、団体役員等と協議していく。</li> <li>○ 令和3年度以降も、コロナ禍の影響により活動の自粛等が考えられるため、その対策や活動について検討・見直しを行う必要がある。</li> </ul>					
地域人材を活かした学習内容の充実	アンビシャス広場の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元ボランティアが中心となって行っている諫山校区アンビシャス広場の活動は、コロナ禍において縮小せざるを得なかったが、町として金銭的・人的支援を行っている。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域ボランティア等指導者不足が見受けられるため、引き続き、事業の必要性を理解する人材の育成が必要である。</li> </ul>	A (A)	B (B)	B (A)	B (A)	
	通学合宿事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通学合宿 コロナウイルス感染症拡大防止等のため中止。</li> </ul>	A (A)	B (B)	C (A)	C (A)	



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童の規則正しい生活習慣や自主性・協調性の向上に一定の効果があり、コロナウイルス感染症が収束した後は、内容等を精査し継続する。</li> <li>○ 運営スタッフが不足しているため、事業の必要性を理解する地域ボランティア等の育成が必要である。</li> </ul>					今後の在り方を含め、もう一度検討することを期待したい。
図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者大学・女性学級、文化健康講座等の会場として文化施設「サン・グレートみやこ」を利用している。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>図書館・博物館や社会教育団体等と連携を図り、文化施設の有効活用に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	計画的に推進していることを評価したい。
社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町が作成した公共施設再配置計画に基づき、関係各課で協議を行い、町の方針について関係団体や利用者に説明を行った。</li> </ul> <p>(令和2年度末廃止施設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久保地区学習等供用施設</li> <li>・豊津グラウンド照明設備</li> </ul>	A (A)	B (B)	A (B)	A (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 町の方針に沿って、廃止するに施設については、引き続き、関係機関と十分に協議し、利用者等へ説明及び周知徹底に努める。また、施設廃止後の跡地利用についても、効果的な利用を図るため、関係地域・関係団体・関係各課等と協議していく必要がある。</p>					

### 3 図書館の整備・充実

#### ○施策の方針

町民に広く親しまれ、利用されるため、地域の実状に即した資料の充実と子どもから大人までの利用機会の充実を図ります。また、学校図書館をはじめとする関係機関やボランティアと連携しながら、読書活動の推進、図書館利用の促進に努めます。なお、図書館の再配置計画に基づく統廃合後の図書館運営を見据えて、蔵書構成や各種行事等のサービス計画を見直します。

#### 主要施策 ①図書館の利用促進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
中央図書館、分館、移動図書館の連携強化		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊津中央館の休館日を火曜日、犀川・勝山分館の休館日を月曜日とし、いずれかの図書館が常に開館している状況を維持している。</li> <li>○ 図書館の再配置計画に基づく統廃合後の図書館運営を見据え、蔵書の構成を見直すとともに利用者が少ない移動図書館車の地域巡回を廃止した。</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》 図書館の再配置計画に基づく統廃合後の図書館を見据えたサービス計画、蔵書収集方針、人員配置等を見直しを行う。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	<p>常にどこかの図書館が開館している状態をつくっていることは評価できる。 統廃合後の見通しや進捗状況を早急に明らかにして確実に示していくことを期待したい。</p> <p>町民や子どもたちの読書活動の向上のため、再配置計画の見直しを期待する。</p> <p>緊急事態宣言中の図書館の開館について検討してほしい。</p>
インターネットなどを活用した広報活動の充実		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームページやフェイスブックを活用し、図書館の事業を多くの方に周知できるように努めている。</li> <li>○ 毎月発行している図書館だよりに職員おすすめ本などの情報を提供した。</li> </ul>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	<p>インターネットを活用した情報提供は評価できる。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○引き続きホームページやフェイスブック等を活用し、図書館事業の周知に努める。</p>					
子ども読書活動の推進		<p>○全館において、対象年齢別のお話し会を定期的で開催してきたが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数を削減せざるを得なかった。</p> <p>・参加者 138名（前年度731名）</p> <p>○全館において、図書館見学会（園児対象）・請求記号を使ったビンゴゲーム・児童書特別展示などを行う子ども読書まつりは、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>○例年、移動図書館車で小学校・保育所・幼稚園を定期的に巡回し、子どもたちの身近に本を届けているが、コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数・貸出冊数ともに減少した。</p> <p>（貸出冊数）</p> <p>・小学校 3,516冊（前年度6,525冊）</p> <p>・保育所等 4,323冊（前年度8,763冊）</p> <p>○児童を対象にものづくりを体験させる夏休みチャレンジ教室は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	<p>今だからこそできる統廃合後の在り方について検討し、準備に必要なもの・人・ことを活用した企画立案を期待したい。</p> <p>子どもが本に親しむことや情操教育のため、活動の推進を期待する。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ コロナウイルス感染症防止対策として、全ての事業の縮小・中止を余儀なくされたが、学校司書とも連携し、図書館統廃合後の子どもが本と出合う場を提供する方策を検討する。</p>					

主要施策 ②図書館を活用した地域文化活動の促進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
読書ボランティア等の人材の育成・確保		<p>○ コロナウイルス感染症拡大防止のため、読書ボランティア養成講座は中止。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 引き続き読書ボランティアの活動を支援するとともに、新たな人材の育成と活動の場の開拓に努める。</p>	A (A)	A (A)	C (B)	C (A)	コロナ禍においても実施可能なことを見いだしていることを評価したい。
ブックスタート事業の推進		<p>○ 乳幼児健診（4カ月児、1歳児）で2冊の絵本を配付している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブックスタート（4カ月児） 103名</li> <li>・ステップ1ブック（1歳児） 93名</li> </ul> <p>○ ブックスタートのフォローアップ事業としてブックスタート事業のパネル展示や赤ちゃん絵本の紹介や子育て関連図書コーナーを設置した。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 図書館利用に繋がるような環境づくりと育児関連書や乳幼児向け絵本等の資料の充実に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (A)	B (A)	本にふれ、本を好きになる契機づくりとしての本事業の価値は高く、継続をお願いしたい。
	<p>※ブックスタート事業…自治体が行う0歳児健診等で、絵本を開く楽しい体験とともに、赤ちゃんに絵本を手渡す活動。</p> <p>※ステップ1ブック事業…ブックスタート事業のフォローアップで12ヶ月授乳幼児を対象とした活動。</p>						

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
図書館を活用した各種行事		<p>○ 読書週間関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本を読んで感想リレー期間中、館内にコーナーを設置し、利用者おすすめの本をメッセージと一緒に展示した。</li> <li>・読書エッセイ 図書館や本に関するエッセイを募集した。9名の応募があり、優秀作品を広報へ掲載した。</li> </ul> <p>○ ブックリサイクル 除籍した図書を利用者へ提供した。</p> <p>○ 資料展示 季節や時事に関することなど、町民の関心が高いテーマを設定し、資料を展示した。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 図書館未利用者が図書館を利用する契機となるようなイベントの企画開催に努める。また、コロナ禍でのイベントについて検討する。</p>	A (A)	A (A)	A (B)	A (A)	多くの人に図書館を利用してもらうための大切な事業であるため、継続をお願いしたい。
博物館と連携した文化活動（ギャラリー利用）の推進		<p>○ 博物館学芸員と次年度以降のイベント連携について協議を行った。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 博物館企画と連動した文化活動や資料展示を実施するなど連携を図る。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

#### 4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用

##### ○施策の方針

文化財を町の重要な資源として保存・継承するために、必要な整備や文化財保護・継承団体への支援を行うとともに、老朽化した施設・設備の再整備を図ります。また、郷土の歴史を活かした教育や地域振興を目指し、歴史文化遺産を前面に出した展示を行います。さらに、博物館が歴史文化遺産を活用した交流拠点となるために、積極的に県内外他市町村との交流・連携を進めます。

##### 主要施策 ①町内の文化財の有効活用

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
国府跡公園・国分寺跡公園等の有効活用		<p>○ コロナウイルス感染症拡大防止のため、部分的な利用制限を行ったが、一定の憩いの場としての利用があり、本町ならではの文化財を活用した地域づくりを進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊前国府跡公園 国府まつりは、地元との協議により、所期の目的を達成したため終了したが、他のイベント（商工会事業）会場等として利用されている。</li> <li>・ 豊前国分寺跡公園 三重の塔まつりは、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ※青少年少女俳句大会は実施した。 応 募句数：8,864句（対前年度比△1,364句）</li> </ul> <p>○ 国府跡・国分寺跡の両歴史公園は、清掃や軽微な日常管理について地元区へ委託しており、地域住民と協働して管理・愛護する体制を継続できている。</p>	A (A)	B (B)	B (A)	B (A)	<p>コロナ禍であっても確実に実施できることは計画的に行っていることを評価したい。</p> <p>コロナ禍で、青少年少女俳句大会を実施できたのは良かった。コロナ禍で、できることを探ることが今後大切になると思う。</p>



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ その他の文化財についても、地元等との協働管理と有効活用（公開・広報顕彰等）を心掛け、歴史・文化遺産豊かな本町の特質のアピールに努めた。主な協働管理が行われる文化財は次の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・永沼家住宅</li> <li>・勝山地区古墳群（綾塚古墳ほか3件）</li> <li>・小笠原文庫</li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <p>○ 引き続き、まつりについては、事務局を担う行政に業務が集中する傾向がみられることから町の政策課題として再検討を行い、内容や形態の見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重塔まつり（現状維持・工夫）</li> </ul> <p>○ 経年劣化等がみられる文化財のうち代表的なものについては、所有者等とも連携・協議のうえ、有効な補助メニューの活用や長期展望を踏まえた維持管理に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊前国分寺跡（排水環境整備）</li> <li>・永沼家住宅（屋根部経年劣化）</li> <li>・当麻曼荼羅（経年劣化）</li> </ul> <p>○ 手軽な公開・活用が困難な文化財については、対象物件のデジタル資料化等により、インターネット上での公開が可能となる環境整備を進める。</p>					各関係者との連携・協議を密にしながら、意図的・計画的・効果的に維持管理を促進することを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化財解説・案内板等の設置		<p>○ 主として現地への誘導を図る案内板は、観光まちづくり課と連携し、同課のサイン事業計画の指針と調整しつつ、協働・支援の形で実施した（主として犀川地区）。</p> <p>○ 老朽化した解説板については、現地確認の上、緊急性の高いものから改修を行った。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 案内板については、引き続き観光まちづくり課と連携し適宜新設や更新・再整備を行う。</p> <p>○ 解説板については、指定文化財を中心に、それ以外でも公開環境が整うものについては今後、計画的かつ継続的に設置を進めると共に、必要に応じて再整備や更新を進める。 また、設置については対象文化財の公益性や実情に配慮し、文化財保護委員会と作成した指針を目安に整備を進める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	他課と連携しながら事業が確実に実施されていることを評価したい。今後もより一層の連携・推進を期待したい。

主要施策 ②歴史民俗博物館の事業振興と機能強化

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
博物館友の会の運営と事業展開		<p>○ 毎年、博物館友の会と博物館が協働して行っている次の文化・学習事業は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 令和2年度登録会員数：141名。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流事業（バスハイク等）</li> <li>・文化事業（作文コンクール）</li> <li>・まつり（塔まつり他）支援</li> <li>・愛護活動（三重塔すす払い）</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 活動や事業を情報発信し、新規会員、特に若年層の会員確保を促していく。</p>	A (A)	A (A)	C (B)	C (A)	中止となり、残念な結果であるが、次年度に向けた新たな案を企画することを期待したい。
博物館ホームページを通じたの情報発信		<p>○ 基幹ページの運営・管理とともにサイドメニュー「みやこ町文化遺産」を拡充し、町内や博物館の文化遺産・関連催事の情報発信に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・追加遺産数2件（皆見大塚古墳ほか）</li> <li>・PV数282,605 (対前年度比172%)</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 機能性の高いページへの改装と、専従人員の増援等で、HPの閲覧や利用の増進を図る。</p>	A (A)	B (B)	A (B)	A (B)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
全国に誇る歴史文化遺産の保存と活用		<p>○ 対外知名度の高い資料（小笠原文庫・小宮豊隆資料・堺利彦資料など）の貸出を含む特別利用に対応するとともに、収蔵資料中の経年劣化や保全策が必要な資料は補修（高規格修理）や保全対策（複製・翻刻制作や高精細記録化等／葉山嘉樹資料）を行った。</p> <p>○ 他の資料についても貸出を含む各層の特別利用に対応し、資料の利活用促進に努めた。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 資料の利活用促進のための閲覧や情報・所在等検索システムの制作・整備や、それに対応できる整理作業や高機能収納設備・専従員配置などの環境整備を目指す。</p> <p>○ 資料の恒久的保存のための計画を作成し、継続的な資料管理を行う。</p>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	
他の博物館等との連携・交流		<p>○ さまざまなゆかりのある博物館や施設・機関・地域と、資料や情報・人的資源等の交流・連携を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漱石山房記念館（東京都/貸出） 企画展「漱石山房の津田青楓」</li> <li>・ いのちのたび博物館（北九州市/貸出） 特別展「名刀・博多藤四郎の輝き」</li> <li>・ 九州歴史資料館（小郡市/貸出） 企画展「朝鮮通信使と福岡」 ほか</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き交流の増進に努め、機運醸成の際には記念事業の実施等を目指す。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	<p>他地域との連携・協力しながらよりよい文化財を通じた交流の深まりを期待したい。また、貸し出した文化財の展示会への地元住民の優先参観・閲覧等も検討することを期待したい。</p> <p>他館の著名な展示物が、みやこ町で展示できるような企画を望む。</p>

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ 自館からもゆかりの館へ連携・調整を働きかけるなどして、交流事業（企画展・講演、シンポジウム事業等）の展開を目指す。					

主要施策 ③遺跡・文化財の整備推進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
遺跡を保護するための各種調査、記録保存		<p>○ 各種開発事業に対応した保存対応の調査や立会・調整作業等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試掘・確認調査 1 件（前年度 1 件）</li> <li>・ 工事立会 3 件（前年度 5 件）</li> <li>・ 本発掘調査 0 件（前年度 0 件）</li> <li>・ 照会件数 1 0 2 件（前年度 1 0 4 件）</li> </ul> <p>○ みやこ町発足後に実施された国庫補助事業に係る発掘調査成果報告書作成のための整理・刊行事業計画〔第2次：R2～R7〕に着手し、三ツ塚古墳群の調査報告書を刊行した。</p> <p>○ 橘塚古墳（国史跡／勝山黒田）について保存や管理計画策定の基礎資料となる学術調査報告書を刊行した。</p> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遺跡や開発への影響を最小限にとどめる対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調整を引き続き進めていくとともに、分布地図に代表される埋蔵文化財の所在情報の把握や更新に努める。</li> </ul> </li> </ul>	A (A)	A (A)	A (A)	A (A)	確実に実施されていることを評価したい。 情報収集と更新を継続的に行うことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 作成した報告書整理・刊行事業計画〔第2次〕に基づき、引き続き調査成果報告書の刊行に努める。</li> <li>○ 調査成果の公開・活用に向けた取り組み（企画展や各種の学習支援・広報活動）を行う。</li> </ul>					
遺跡・文化財の適切な整備・活用		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遺跡・文化財のうち、経年劣化や周辺を含めた環境改善等必要なものについて、補修や環境改善事業を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺跡等〈不動産系文化財〉 永沼家住宅（囲い柵修理） 豊前国分寺跡公園（繁木類の伐採・撤去） 庄屋塚古墳（繁木類の伐採・撤去） 思永館（耐震補強工事／福岡県事業）</li> <li>・美術・工芸・典籍等〈動産系文化財〉 木造僧形八幡神坐像（複製制作） 小笠原文庫（マイクロフィルム画像複製）</li> </ul> </li> </ul> <p>≪課題・今後の方向性≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域や所有者等の協力の下、引き続き有効かつ効率的な対象物件の恒久的保存に必要な施策や管理・環境整備を進める。</li> <li>○ みやこ町遺産の具体的総合行政計画と位置付けられる「文化財保存活用地域計画」の策定に向けて調整・協議等を進めていく。</li> </ul>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
伝統文化・遺産の保存、継承に向けた活動及び関係団体・機関等の支援		<p>○ 毎年、指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、各種補助・支援・協力等を行い、文化財の保存・継承、顕彰愛護活動を支援している。</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、伝統文化公開事業は、全て中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保存団体 福岡県豊前神楽保存連合会 生立八幡宮山笠保存会 千女房桜を守る会 黒田楽保存会</li> <li>・文化財愛護団体 みやこ町郷土史研究会</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 指定文化財保存団体や地域史研究団体等の文化財愛護団体に対し、引き続き支援を行う。また、支援については、補助金に限らず、関係者ニーズや公益性・有効性のあるものについて内容や方法を検討しながら進めていく。</p> <p>○ 民俗文化財については、急速な社会情勢の変化に鑑み、その保存・継承に向け学識者を交えた学術調査とともに映像・音声等も活用した記録保存事業の実施が望まれる。</p>	A (A)	A (A)	C (B)	C (A)	記録保存の在り方も変化している。ネット上での公開・閲覧に対応するため、セキュリティ対策を含め管理・運営の工夫を検討することを期待したい。



5 文化芸術振興活動の推進

○施策の方針

文化協会を中核とした文化的活動への支援・共同体制の強化を図るとともに、各文化団体の自主性・独立性を推進するための必要な措置・支援を行います。

主要施策 ①地域文化を活かした文化振興事業の推進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
文化協会等による文化・芸術活動の支援		<p>○ 毎年、文化協会が主催する事業や活動に対し補助事業による活動支援を行うとともに、公開事業や町との協働事業には人的・物的な支援を行い、同会を介した町民向け文化・芸術活動の振興に努めている。</p> <p>コロナウイルス感染症拡大防止のため、関連事業・催事は、全て中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花しょうぶまつり記念発表会（6月）</li> <li>・文化月間記念発表会（10月）</li> <li>・産業祭記念発表会（11月）</li> <li>・文化芸能フェア（3月）</li> </ul> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 文化協会が行う町民等一般への公開・還元を目的とする公益性の高い事業については引き続き支援・協力を進めていく。</p> <p>○ 会員の高齢化等による会員数の減少化傾向がみられることから、新規会員の加入促進に努めるとともに、会の新たな魅力発信や事業・組織改変等について、多方面から検討する。</p>	A (A)	B (B)	C (A)	C (A)	地域住民がどんなことに興味・関心を持っているのかを調査するなどして、会員減少傾向への対策や新規加入促進に努めていくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		○ コロナ禍においても活動を支援できる体制づくりについて、検討していく。					
文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等の支援	○ 文化協会が、構成単位となる各文化団体や教室はもちろん、町内外の文化芸術団体・関係機関等とも積極的に交流や調整を担う主体として機能できるよう、組織運営を含め支援や調整を行っている。  <b>《課題・今後の方向性》</b> ○ 文化協会の事務は、現在町の会計年度任用職員が行っているが、協会がより自主的な運営ができるよう、今後の支援の在り方について協会とも協議・調整を進める。 ○ 文化協会に属さない個人や団体も参加が可能な文化催事やその支援の在り方等について検討する。 ○ 文化振興に係る指針や規則等の制定について検討する。	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	文化協会のより自主的な運営が可能になる支援の在り方を考案し、移行のシステム化を整備していくことを期待したい。	
伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施	○ 町内外から多くの児童生徒が作品参加する文化振興事業 ・文化のみやこ作り記念コンクール (10月) コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 絵画コンクール (前年度 1,208点) 作文コンクール (前年度 47点)	A (A)	A (A)	B (A)	B (A)	コロナ禍でも開催可能な在り方を検討することを期待したい。	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>・塔まつり記念少年少女俳句大会（2月）</p> <p>作品募集のみ、表彰式なし</p> <p>応募数：34校/ 8,864句 （前年度39校/10,228句）</p> <p>大会特選句を「小宮豊隆賞」「三四郎賞」「蓬里雨賞」とし、みやこ町ゆかりの先人を顕彰・周知する機会となっている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今後も引き続き学校への積極的な情報提供や周知・顕彰を続け、伝統文化を活かした文化振興事業の推進に努める。</li> <li>○ 一般・成人向けの事業等、年齢・性別等に関わらず、参加・楽習できる伝統文化やその遺産を活かした事業の推進に努める。</li> </ul>					小・中学校だけではなく、多様なジャンルや参加者の年代等を検討し、多くの人が参加できる体制の構築を期待したい。

## 6 スポーツ・レクリエーションの推進

### ○施策の方針

スポーツ・レクリエーション活動は、住民相互の交流を生む機会として重要です。総合型地域スポーツクラブや体育協会・スポーツ推進委員による活動を通じて、誰でも、いつでも気軽に参加することができるスポーツ・レクリエーション活動を推進するとともに、競技スポーツの強化、オリンピック選手等トップアスリートの招へいを行うなど競技力の向上に努めます。また、スポーツ・レクリエーション活動の活性化に向けて、レクリエーション指導者や競技スポーツ指導者の資質向上に向けた研修会などに取り組みます。さらに既存のスポーツ施設の中には老朽化が進んでいるものもあり、施設の適正な維持管理に努めるとともに、住民の様々なニーズに応じたスポーツ活動が行える環境を作ることで、生涯を通じたスポーツへの参加ができる仕組みづくりに取り組みます。

### 主要施策 ①住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ推進計画の策定		<p>○平成28年度に作成した第2次みやこ町総合計画をスポーツ振興計画と位置づけ、誰でも、いつでも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○今後とも、みやこ町総合計画に基づき、スポーツ推進審議会において、スポーツの推進について意見交換を行い、スポーツの振興を図っていく。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	スポーツ推進審議会での審議内容の公表について、どの程度公表可能なのか等、検討を期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
子どもと高齢者の体力づくりの推進		○ コロナウイルス感染症拡大防止のため、毎年、体育協会・スポーツ推進委員・スポネットTOYOTSU（総合型地域スポーツクラブ）などと連携して実施してきたスポーツフェスタやマラソン大会など多くの事業は中止。	A (A)	B (B)	C (A)	C (A)	中止になり残念であるが、いつ再開できてもいいような体制づくりやその維持及び新たなスポーツの開発に取り組むことを期待したい。  コロナ禍で、多くの計画が中止になったが、いずれも町民の心と体の健康維持のため欠かせないものばかりである。コロナ禍でできるスポーツ、レクリエーションの紹介はできないか。  高齢者の健康維持を目的に掲げ、事業の継続を望む。
		○ 町立保育所年長・年中の子ども達を対象としているリズム体操・水泳教室も中止。 ○ B&G杯としているソフトバレーボール大会や剣道大会も中止。 ○ スポネットTOYOTSU単独事業でも、多くの事業を中止したが、ジュニアプログラムによる各種スポーツ活動を年12回、また、一般・シニアの体力アップ運動教室を年37回と回数を減らし実施した。水中運動教室や小学校へのクラブ活動指導者の派遣については実施しなかった。					

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も体育協会・スポーツ推進委員・スポネットTOYOTSUなどと連携し、より多くの町民が参加できるよう多種多様なスポーツ・レクリエーション機会を提供していく。</p>					
誰でも、いつでも気軽に参加することができるスポーツ・レクリエーション活動の推進	海洋性スポーツの普及	○ 海洋性スポーツの指導者を有する業者と生涯学習課の職員が連携して、毎年7月に開催する犀川本庄池でのカヌー・ヨット教室は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A (A)	A (B)	C (A)	C (A)	海のないみやこ町にとって貴重な体験の場でもあるので、継続できる体制づくりを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後も業者と生涯学習課職員との連携により、海のないみやこ町で海洋性スポーツを体験できるカヌー・ヨット教室を継続していきたい。</p>					
	競技スポーツの振興	<p>○ 競技スポーツは、主に体育協会加盟クラブが競技大会や審判講習会等を開催している。</p> <p>○ さわやかマラソン大会兼京都郡ロードレース大会はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>○ 福岡県民体育大会は、令和2年度は福岡地区で開催予定であったが中止となった。</p> <p>○ 体育協会が実施主体となり、豊津陸上競技場で開催している陸上競技大会「白川力杯」も中止。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、競技スポーツの振興を図る体育協会の組織体制の強化及び活性化を図ると共に、支援体制について協議していく。</p>	A (A)	B (B)	B (A)	B (A)	

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ推進委員等によるニュースポーツの普及・推進		<p>○ 毎年、スポーツ推進委員による「みんなで楽しく遊ぼうデー」を犀川体育館、「ふれあいスポーツ教室」を勝山体育館で、それぞれ、毎月1回実施し、ニュースポーツの普及・推進を図っているが、令和2年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、遊ぼうデーは3回、スポーツ教室は4回しか実施できなかった。</p> <p>○ 毎年、スポネットTOYOTSUとの連携によりジュニアプログラムやシニア体力アップ事業などに参画している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 関係各課・機関等と連携し、引き続き、誰もが参加できるニュースポーツの普及・推進に努める。</p> <p>○ スポーツ推進委員も高齢化傾向にあるため、若手の推進委員の加入促進を図る必要がある。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	ニュースポーツを普及・推進するためには、学校教育との連携も視野に入れて検討することを期待したい。
ホームページの管理・運営事業		<p>○ 毎年、施設管理状況の変更内容等の更新やイベント等の案内・結果等の情報提供を行っている。令和2年度は、コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言の発令に伴う施設の開閉情報などをホームページで提供した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後とも迅速かつ的確な情報提供に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	A (A)	効果的な事業であり、評価できる。



主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツフェスタの充実		<p>○「スポーツフェスタINみやこ2020」は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○競技種目を精査し、当面は継続していきたい。</p>	A (A)	A (B)	C (A)	C (A)	
アダプテッド・スポーツの取組		<p>○みやこ町身体障がい者福祉会、子育て・健康支援課、生涯学習課と連携し、昨年に引き続きフライングディスク大会を実施した。また、スポネットTOYOTSUの主催、福岡県障がい者スポーツ協会の指導により、障がい者スポーツ（ゴールボール・ボッチャ）体験会を実施した。</p> <p>○スポーツ推進委員会を中心に障がい者や高齢者のスポーツの指導者講習会等に参加し、指導者の養成に取り組んだ。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○障がい者スポーツの普及振興を図る体制づくりについて検討する。</p> <p>○スポーツ推進委員会やスポネットTOYOTSUと連携して、障がい者を対象とするスポーツ教室の開催について検討する。</p>	A (A)	B (B)	A (A)	A (A)	他課との連携で事業が運営されていることを評価したい。
	<p>※アダプテッド・スポーツ (adapted sports)…障がい者や高齢者、子どもあるいは女性等が参加できるように修正された、あるいは新たに作られた運動やスポーツ・レクリエーション全般のこと。</p>						

主要施策 ②競技スポーツの振興

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
体育協会によるチャンピオンスポーツの実施支援		<p>○ 体育協会の主催により、陸上、卓球、バレーボール、軟式野球、ソフトボール、水泳、ソフトバレーボール、サッカー、空手、剣道、バドミントン等のチャンピオンスポーツ活動を支援（大会助成、施設使用料の減免等）している。</p> <p>○ 毎年、京都郡大会や県民体育大会などに町代表選手の派遣を行っているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、京都郡大会や県民体育大会は全て中止となった。</p> <p>○ コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの大会が中止となったこともあり、全国大会出場助成金の対象者はいなかった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、体育協会の組織体制強化及び活性化を図るとともに、チャンピオンスポーツへの支援体制について体育協会と協議していく。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	今後も支援していくことを期待したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
オリンピック選手などトップアスリートの招へい		<p>○ 2020年東京オリンピック事前キャンプ実施に係る基本合意書に基づき、昨年度に引き続き、豊津陸上競技場を主として事前キャンプの受け入れを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止によるオリンピックの開催延期などにより事前キャンプも中止となった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ コロナウイルス感染症対策を徹底し、オセアニア地域の各国オリンピック出場陸上選手を招き、ホストタウンとして豊津陸上競技場やトレーニングセンターなどの体育施設を提供する。</p> <p>○ 事前キャンプ終了後の交流について関係各課と協議していく。</p>	A (A)	A (A)	C (A)	C (A)	一過性で終わるのではなく、今後の関係の在り方を維持・継続することができるシステムの構築を期待したい。

主要施策 ③既存の体育施設の有効活用と利用促進

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
複合的な活用を考えたスポーツ施設の活用		<p>○ 豊津運動公園内には第4種陸上競技場、体育館、プール、トレーニングセンターなどがあり、毎年、さわやかマラソン大会や隣接の花菖蒲公園などのまつりにも利用されているが、令和2年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p> <p>○ 犀川体育館・中央公民館・周辺駐車場を利用し、毎年、開催している産業文化祭も中止となった。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 引き続き、関係各課・機関と協議検討を行い、複合的な施設の有効活用に努める。</p>	A (A)	A (A)	C (B)	C (A)	
海洋性スポーツ・レクリエーション施設（B&G財団）の利用促進		<p>○ 犀川艇庫（本庄池）でのカヌー・ヨット教室はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止。</p> <p>○ 豊津B&amp;Gプールは、コロナウイルス感染症拡大防止のため一般利用を中止したが、小中学校・保育所の水泳授業のみ利用可能とした。また、カヌーの指導者研修会を同プールで初めて実施した。</p> <p>○ 豊津B&amp;G体育館（利用者16,714名：対前年度14,729名減）においては、学校行事・部活動などの利用（無料）、各種団体（体育協会、子ども会、老人会など）への使用料減免措置を行っている。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	実施できる事業については確実に実施していることを評価したい。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
		<p>○ 公共施設再配置計画に基づき、犀川B&amp;G体育館を令和2年度に解体した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 豊津B&amp;G体育館は老朽化が進んでいるため、令和3年度にバリアフリー等を含め大規模改修を行い、誰もが利用しやすい環境を整備していく。</p>					

主要施策 ④指導者の育成・発掘

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
スポーツ・レクリエーション指導者の育成		<p>○ カヌー・ヨット教室を中止したため、指導者の育成は出来ていない。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 海洋性スポーツ・レクリエーションの指導者づくりが課題である。今後計画的にB&amp;G財団主催の指導者養成研修への参加を図りたい。</p>	A (A)	A (A)	C (B)	C (A)	他の事業継続のためにも、人材育成は必要であり、意図的・計画的に実施されることを期待したい。
スポーツリーダーバンクの構築と活用		<p>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUを中心に指導者講習会等に参加し、指導者の養成に取り組み、各種団体からの依頼に対応している。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ スポーツリーダーになるべく人材育成及び組織構築が課題である。当面は、指導者の育成強化を図るため、現指導者に対して指導者講習会等への参加を促していく。</p>	A (A)	B (B)	B (B)	B (B)	

主要施策 ⑤運動をすることでの健康づくりへの取組

※令和2年度の評価を下段（ ）で記入しています。

主要事業	事業	内容・成果	評価				外部評価
			有効性	効率性	達成度	総合評価	
実践しやすい運動について情報提供		<p>○ スポーツ推進委員やスポネットTOYOTSUが実施している「みんなで楽しく遊ぼうデー」や「体力アップ運動教室」などの情報提供を行っている。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 今後とも、町民が気軽に参加できるような魅力のある教室を開催し、防災行政無線・広報等での情報提供に努める。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	
関係団体との連携		<p>○ スポーツ推進員やスポネットTOYOTSU等と連携を図りながら、町民の健康づくりに繋がるニュースポーツの推進を図った。</p> <p>○ 令和元年度に引き続き、みやこ町身体障がい者福祉会や子育て・健康支援課と連携し、フライングディスク大会を実施した。</p> <p>《課題・今後の方向性》</p> <p>○ 日頃、運動しない人をいかにして運動に興味を持たせるようにするかが課題であるため、今後とも、関係機関等と連携を強化し、誰もが気軽に取り組めるスポーツ機会の提供に努める。</p> <p>○ 超高齢化社会を迎えているみやこ町における介護予防のニーズが高まっていることに鑑み、介護福祉課や関係機関と連携した事業について検討していく。</p>	A (A)	A (A)	B (B)	B (A)	<p>他課との連携は必須であり、更なる連携と継続を期待したい。</p> <p>健康づくりといった視点をもっと強調すると共に、自宅に居ながらも参加できる方法等を検討・企画することを期待したい。</p>

## 令和3年度 みやこ町教育委員会自己点検・評価（令和2年度対象）に対する外部評価委員会の所見

外部評価委員長 芋生 修一（福岡教育大学教職大学院 特任教授）  
委員 中村 政弘（みやこ町教育行政経験者）  
委員 大川 照（教職員経験者 小学校長経験者）

みやこ町教育委員会が令和元年度に取り組んだ活動について自己点検・評価をおこなったが、その点検・評価に対して外部評価委員会は3回に亙る委員会において慎重に審議した結果、以下の所見を述べる。

### 1. 外部評価の意義、並びにみやこ町教育委員会点検・評価の方法

『地方教育行政の組織および運営に関する法律』の一部改正（平成20年4月施行）により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、報告書を作成し、議会に提出するとともに、情報公開の一環として広く市町村住民に公開することにより、住民に対して説明責任（アカウントビリティ）を果たすことが求められることとなった。

みやこ町における自己点検・評価及び外部評価は今年で10年目を迎えた。今年度の点検・評価及び外部評価は、基本的には前年度までの内容及び方法をほぼ踏襲して、令和2年度の教育委員会活動を、Ⅰ. 教育委員会の活動、Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務、Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務の3つに区分し、それぞれについて教育委員会の活動の進捗・達成状況等を点検・評価している。その中で、「Ⅲ. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に係る主要施策・主要事業、並びに各活動については、「みやこ町第2次総合計画(平成28年度～令和2年度)の基本計画に示された主要事業及び教育委員会で策定した「平成29年度みやこ町教育施策リーフレット」の主要事業に対応し、「1 学校教育における学習環境の充実」、「2 生涯学習のための環境整備」、「3 図書館の整備・充実」、「4 遺跡・文化財・博物館の整備・活用」、「5 文化芸術振興活動の推進」、「6 スポーツ・レクリエーションの推進」の6つの施策から構成され、各々に主要施策並びに主要事業が設定されている。



以上の各施策並びに事業の達成に向けて実施された活動（取組）に対して点検・評価を実施している。

各評価項目（取組）に対する点検・評価並びに外部評価にあたっては、「Ⅰ 教育委員会の活動」及び「Ⅱ 教育委員会が管理・執行する事務」については、各取組の実施状況に対して、評価基準を「A.達成できた」「B.おおむね達成できた」「C.達成できなかった」の3段階評価として教育委員会が自己点検・評価したものを項目ごとに外部評価委員がその内容を確認し、別紙評価シートに評価を記載するとともに、以下の所見で総合的評価を記載する形を採っている。また、「Ⅲ 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「有効性」「効率性」「達成度」の観点及びそれら3つの「総合評価」という4つの観点が設定されている。そして、「有効性」の観点から「A.有効である」「B.おおむね有効である」「C.あまり有効でない」、また「効率性」の観点から「A.実施できている」「B.おおむね実施できている」「C.実施できていない」、「達成度」の観点から「A.期待を上回る」「B.おおむね期待どおり」「C.期待を下回る」、最後に「総合評価」として「A.達成できた・B.おおむね達成できた・C.達成できなかった」のそれぞれ評価判断基準を設けた。この評価方法による各項目の点検・評価の結果について、外部評価委員会は、2回に亘る聞き取りにおいて各担当部署に具体的な説明を求め、別紙評価シートにできる限り簡潔にその評価を記載するとともに、以下の所見において詳細に述べている。

## 2. 「教育委員会の活動」及び「教育委員会が管理・執行する事務」に対する外部評価

ここでは、上記「Ⅰ. 教育委員会の活動」及び「Ⅱ. 教育委員会が管理・執行する事務」に係る取組について所見を述べる。

### [1] 教育委員会の活動

#### (1) みやこ町教育委員会会議の運営、公開等

##### ①教育委員会会議の運営改善について

会議は定例会8回が開催され、適切な運営がなされていると判断する。特に昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するみやこ町としての指針を示すための協議等が慎重に行われ、教育委員会としての方針を示したことで学校が混乱することなく、教育活動を継続できたことは評価したい。

##### ②教育委員会会議の公開等に関すること

これまでの外部評価において、教育委員会会議をはじめ、自己点検・評価や外部評価に関する情報の公開、並びに会議の傍聴を促す取組を積極的に推進してほしい旨を指摘してきた。そうした指摘に対応して、平成25年度以降、教育委員会開催についてホームページに掲載し周知を図るなど努力が継続的に行われてきた点を評価する。ホームページによる広報は閲覧できる町民に限られて

いるのではないかという指摘も有り、今後も移動委員会の開催や町広報誌等の利用など、情報公開や住民の積極的関与のための工夫を期待する。

### ③教育委員の自己研鑽、並びに学校等教育施設に対する支援・条件整備に関すること

県内あるいは京築地区で実施された研修会、並びに各学校で開催された研究発表等への参加については、計画的・継続的に実施されていることが確認された。今後も、教育方法や教育内容の急激な変化に対応できるように、研修会や研究協議会への参加による知見（情報等）を確実にフィードバックし、みやこ町の教育行政や教育実践の改善・改革に結びつけるよう一層の研鑽・研修の充実を期待したい。また、必要に応じて研修内容の詳細をまとめて、町民に報告することも検討してもらいたい。

一方、積極的・定期的に学校等教育施設を訪問し、学校の状況を意欲的に把握する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止で参加できなかったことが残念である。新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮し今後の状況を観察しながら、学校及び教育施設に対する訪問等を再開・実施していきたい。さらに、学校訪問後の指導内容や協議内容等を積極的公開し、町民へ学校状況の理解を促していきたい。

## [2] 教育委員会が管理・執行する事務

- (1) 本年度もみやこ町教育施策について審議・策定し各学校に配付していることが確認された。今後も教育委員会の考え方及びその政策遂行について、各学校長が作成する学校経営要綱へ具体的に反映し、具現化することを期待したい。また、策定した内容に則った学校運営の効果をj確認する場として、定期的な学校訪問だけではなく、教育長との面談や各学校における外部評価の結果公表を行っていることを評価したい。今後も継続するとともに、学校運営や組織化のあり方を交流し合う場と機会を設け、よりよい学校教育のあり方を確かなものにするように期待したい。
- (2) 教育行政の運営の必要上、あるいは各学校及び地域の教育現実等への対応の必要上など、時代の状況に応じて常に見直しが行われ、適切に諸規則の改正等を行っている判断し、評価したい。
- (3) 教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事項では、適任者の選定がなされていると判断する。今後も、日常的な町内の人材情報の収集を行い、経験豊富な人材を任命するよう心がけることを期待したい。
- (4) 令和3年度の使用中学校教科用図書及び小学校の一部の特別支援学級で使用する教科用図書の採択に関しては、適切且つ公正に採択・決定が行われたことを評価する。

### 3. 「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」に対する外部評価

「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」は、6つに大別された大項目「学校教育における学習環境の充実」、「生涯学習のための環境整備」、「図書館の整備・充実」、「遺跡・文化財・博物館の整備・活用」、「文化芸術振興活動の推進」「スポーツ・レクリエーションの推進」であり、それぞれの大項目のもとにいくつかの主要施策、さらにその主要施策のもとに主要事業が示されている。点検評価は、主要事業の有効性、効率性、達成度を確認し評価したものである。以下は、教育委員会による自己点検評価に対して外部評価委員会が実施した評価の所見である。

#### <1>学校教育における学習環境の充実

標記の大項目のもとに、「①子どもの教育環境の充実」「②子どもの健康を守る取組の推進」「③学校施設の整備・充実」「④児童・生徒の安全確保」「⑤家庭教育力の向上」の5つの主要施策が設けられている。

##### (1) 子どもの教育環境の充実

この主要施策のもとに、「チームとしての学校づくり」、「9年間を見通した教育の充実」、「時代を担う人材育成のための教育の充実」、「多様な教育ニーズにこたえる教育の推進」、「安全、安心な給食の配食」の5つの主要事業が示されている。

「チームとしての学校づくり」については、「心理や福祉など多様な専門家の配置の促進」、「関係機関との連携強化」、「家庭・地域との連携強化」の3つの取組が、また、「9年間を見通した教育の充実」については、「小中連携教育の推進」、「基礎学力向上に向けた教育活動の充実」、並びに「心の教育や体力向上の取組の充実」の3つの取組が、さらに「時代を担う人材育成のための教育の充実」については、「国際理解教育・英語教育の推進」、「キャリア教育の推進」、「郷土を愛する心を育てる教育の充実」の3つの取組が、「多様な教育ニーズにこたえる教育の推進」については、「特別支援教育の充実」、「不登校児童・生徒への支援の充実」の2つの取組が、「安全、安心な給食の配食」については、「衛生管理の徹底と安全、安心な給食の配食」、「地場産農産物の利用促進」、「食育の推進」の3つの取組がそれぞれ実施されている。

これらの取組に対する評価について、外部評価委員会が特記しておきたい所見は以下の通りである。

- ① 「心理や福祉など多様な専門家の配置の促進」については、町雇用のSSWやスクールアドバイザー、合理的配慮アドバイザー等の専門家による人的確保・配置を計画的に進めていることによって、効果が上がっていることは評価できる。ますます多様化する児童・生徒への対応を充実するためにも、効果の数値化とともに、今後も関係機関と連携しながら引き続き実施できるように予算の確保をお願いしたい。

- ② 「関係機関との連携強化」における連携の内容や相談等に関しては、今後ますますみやこ町教育委員会の主体性が問われてくる。学校任せではなく、本教育委員会のイニシアチブによるビジョンやシステムの確立と推進を期待したい。
- ③ 「家庭・地域との連携強化」については、生活習慣や学習習慣確立の主体が家庭・保護者・地域となるようにするためにも、みやこ町PTA連合会と連携し、家庭・地域を巻き込んだ組織的な取組・推進を期待したい。
- ④ 「小中連携教育の推進」については、重要な施策であり、計画的に進められていることや共通した多様な取組を実施していることは評価できる。今後は取組の特色化及び共有化を図っていく視点からも、効果が上がっている取組の広報や実践的な交流会の開催等を実施し、各校区の主体的な取組を促進したい。
- ⑤ 「基礎学力向上に向けた教育活動の充実」については、確実に成果が上がっており、みやこ町学力検証委員会を中心に継続した事業の展開を期待したい。特に「メソッドタイム」の設定は効果的であるので、その共有化と協働化による継続的な取組を期待したい。また、若年教員の人材育成に関して、各種研修会での成果を自分事として日常の学習指導や教育計画にどのように反映していくのか、みやこ町教育委員会における指導性の発揮と人材育成計画の選定が求められる。
- ⑥ 「心の教育や体力向上の取組の充実」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため、十分な成果が上げられなかったが、再開したときのことを考えて事業内容の見直しを行うことを期待したい。
- ⑦ 「国際理解教育・英語教育の推進」については、成果が現れてきている事業の一つとして、児童生徒の英語活動や会話力を高めるためにも、GTECの実施やALTの確保、積極的な派遣及びスピーチ大会などの表現する機会や場の確保・充実は、今後も継続していきたい。併せて、県小学校外国語専科配置制度の活用や授業改善による中学校英語教員の指導力向上を期待したい。
- ⑧ 「キャリア教育の推進」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため、十分な事業展開ができなかった。今のうちにもう一度、全教育活動の中でキャリア教育やキャリア形成を具体化・具現化していく上での見直す機会としたい。
- ⑨ 「郷土を愛する心を育てる教育の充実」については、本教育委員会が主体となって文化遺産や郷土の偉人を教材化した資料集作成を行い、道徳教育の充実と郷土愛の向上を図っていくことを期待したい。
- ⑩ 「特別支援教育の充実」については、適切な人的配置が計画的・継続的に行われていることを評価したいし、今後も充実・継続できるようにしたい。また、指導者の専門性を確保し指導力向上の面から、特別支援免許状保有率を高める必要がある。そのための積極的・計画的な支援及び人材育成計画の策定を期待したい。さらには、就学前からの指導の引き継ぎを図るためにも、福祉課や子育て支援課等の他部署や幼稚園・保育所等との連携が必要であるため、その連携のシステムを強化していきたい。
- ⑪ 「不登校児童・生徒への支援の充実」については、SSWSCの配置が計画的に実施され、その効果も上がっていることを評価したい。

今後は、不登校の児童・生徒が年々増加の傾向であるため、その原因や要因を分析して、それらに応じた対策をシステム化していきたい。また、校内適応指導教室の設置を計画的に実施するなど、小学校段階からの早期の対応を期待したい。

- ⑫ 「地場産農作物の利用の促進」については、毎月19日が「食育の日」ということが周知徹底していることを評価したい。また継続した取組を期待したい。一方、「食育の推進」に関しては、事業内容が計画的に実施されており、今後の継続を期待したい。特に、ITC活用における効果的・効率的な指導の在り方と広報を期待したい。

## (2) 「子どもの健康を守る取組の推進」

この主要施策では、「食物アレルギーをもつ児童生徒への適切な対応」が示されている。「みやこ町食物アレルギー対応マニュアル」を活用して種々の取組や学校との連携・情報共有がなされていると判断する。今後も、適切な対応が図られるよう着実な実行を期待したい。

## (3) 「学校施設の整備・充実」

この施策では、「統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進」、「ICT教育推進のため電子黒板等の機器の整備の推進」、「特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備」が3つの取組がなされている。

- ① 「統廃合を含む学校再編整備についての検討と、学校再編の推進」については、保護者や地域住民等の理解と協力を得ながら、常に新しい情報を提供していく中で、計画的・継続的に推進していることが確認できた。
- ② 「ICT教育推進のための電子黒板等の機器の整備の促進」については、ギガスクール構想に則った実施を確実に行うと共に、コロナ禍での状況変化によるICT活用・普及が加速されたことを踏まえ、ハード面と共にソフト面の充実を図り、ITC活用の情報を教員に提供することを期待したい。
- ③ 「特別支援教育など多様な教育活動に対応できる環境整備」については、巡回による通級指導に係る町雇用「合理的配慮協力員」の2名配置など通級指導教室の環境整備が進んでいることが確認できた。今後も教育的ニーズに応じた教育活動が実施できるように、確実な環境整備の継続を期待したい。併せて中学校における巡回による通級指導の充実を期待したい。

## (4) 「児童・生徒の安全確保」

この主要施策は、「通学路の安全確保」、「安全見守り活動の充実」、「スクールバスの適切な活用」の3つの取組がなされている。いず

れも着実に実施され、安全確保に努力していることが評価できる。さらなる安全確保の視点から、スクールガードリーダーによる情報交換会や研修会等による情報の共有・促進を期待したい。なお、スクールバス利用は、優れた活用例である。生徒の安全面や教師の負担軽減に極めて有効であると共に、学校再編に向けた重要な取組である。今後も利活用の拡充を期待したい。

#### (5) 家庭教育力の向上

この主要施策は、「親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組」、「保護者と連携した学力の向上、規範意識の向上」、「発達段階に合わせた連携・教育の推進」の3つの事業が展開されている。

「親子での体験活動や保護者が自ら学習する場づくりへの取組」において、保護者等を対象とした講演会は開催されたが、子ども体験教室、凧づくり体験教室、親子星空観望会は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。コロナウイルス感染症が収束した後の再開を目指して、内容・方法等の検討を期待したい。

「保護者と連携した学力の向上、規範意識の向上」では、「ストップ・スマホ」に対するみやこ町教育委員会としての方針確定を早急に行うと共に、家庭での指導が行いやすいように、各中学校区内に応じた取組の具体化に移行し確実に成果が上がっていると評価する。今後も、保護者が主体者であり、みやこ町PTA連合会や各関係機関との連携・実践を図りながら、更なる活動の充実を期待したい。

### <2>生涯学習のための環境整備

この取組では、『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」と「生涯学習環境の整備」の主要施策を推進している。前者には、「ライフステージに応じた学習機会の提供」、「自己啓発のためのバランスのとれた各種講座教室の提供」、「公民館活動の活性化と地域住民の学習活動への参画」、「人権教育の推進」の4つの主要事業が、後者としては「生涯学習情報提供の充実」、「社会教育団体等への支援と活動の活性化」、「地域人材を活かした学習内容の充実」、「図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進」、「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し」の5つの主要事業が掲げられている。

『いつでも・どこでも・だれでも・なんでも』学ぶことができる学習機会の提供」では、高齢者、女性及び青少年をそれぞれ対象とした学習機会を提供するための多様な講座等が前年度に引き続き計画されていたことを評価したい。しかし実際は、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止実施回数を削減したり開催を中止したりしている。そのため参加者が減少しているが、減少した要因は何かを分析して事業の内容や方法を見直し、多様なニーズに対応できる今後の在り方を検討していくことを期待したい。

「人権教育の推進」においては、日々の教育活動の中で人権教育が充実するように、交流会レポートを作成・配付・活用していくシステ

ムを構築することを期待したい。

「生涯学習環境の整備」では、「生涯学習情報提供の充実」については、ICT活用による情報提供の在り方を実施するなど、多様な手段を活用した広報が随時適切に行われていると評価する。「社会教育団体等への支援と活動の活性化」については、コロナウイルス感染症拡大防止のため多くの事業が中止となったが、子ども会育成連合会や婦人会等への活動支援が継続していることを評価したい。

「地域人材を活用した学習内容の充実」の「通学合宿事業の推進」については、コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、児童の体験不足を補完する上で有効な事業であり、再開に向けて運営スタッフとしての地域ボランティアの育成を図っていくことを期待したい。そのためにも、中学生も参加させ、将来における地域のリーダー育成に繋がることを期待したい。

「図書館や博物館など、文化施設を有効活用した学習活動の推進」、「社会教育施設の適正配置と老朽化に伴う施設整備の在り方の見直し」については、計画的に且つ確実に実施できていることを評価したい。

### **< 3 > 図書館の整備・充実**

図書館の整備・充実に関する施策では、「図書館の利用促進」と「図書館を活用した地域文化活動の促進」の2つの主要施策が展開されている。

「図書館の利用促進」については、「中央図書館、分館、移動図書館の連携強化」、「インターネットなどを活用した広報活動の充実」、「子ども読書活動の推進」の3つの主要事業が展開されている。各図書館の閉館日をずらすなどして、町内図書館が常に開館していることは、利用者にとっては好評であると判断する。さらに、図書館で行う事業や行事等をホームページだけでなくフェイスブックに掲載することにより、多くの方に周知できるように努めていることを評価したい。

また、「図書館を活用した地域文化活動の促進」については、「読書ボランティア等の人材の育成・確保」、「ブックスタート事業の推進」、「図書館を活用した各種行事」、「博物館と連携した文化活動（ギャラリー利用）の推進」が取り組まれている。

コロナウイルス感染症拡大防止のため中止になったり自粛したりした事業もあったが、開催可能な事業については、コロナウイルス感染症拡大防止に対応しながら、確実に実施されていると判断する。特に「ブックスタート事業の推進」については、“本にふれ、好きになる機会を提供する”といった本事業の価値性から継続することを期待したい。

### **< 4 > 遺跡・文化財・博物館の整備・活用**

「町内の文化財の有効活用」、「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」、「遺跡・文化財の整備推進」の3つが主要施策として示されて

いる。

「町内の文化財の有効活用」においては、コロナ禍でも確実に実施できる事業については計画的に実施していることを評価したい。各関係者との連携・協議を密にしながら、意図的・計画的・効果的に維持管理を促進していくことを期待したい。また、他課と連携しながら事業が進められていることを評価したい。今後も積極的・継続的に連携していくことを期待したい。

「歴史民俗博物館の事業振興と機能強化」については、殆どの事業がコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっているが、次年度に向けた新たな案を企画したり、他課と連携・協力したりしながら、よりよい文化財を通じた交流の深まりを期待したい。

「遺跡・文化財の整備推進」においては、殆どの事業がコロナウイルス感染症拡大防止のため中止となっているが、各種調査・記録保存や整備・活用においては確実に実施されていることを評価したい。今後は、インターネット上からの公開・閲覧が可能になる情報収集・保存や更新の在り方を工夫することを期待したい。

#### < 5 > 文化芸術振興活動の推進

ここでの取組として「地域文化を活かした文化振興事業の推進」が主要施策として示されており、「文化協会等による文化・芸術活動の支援」、「文化団体の自主的な運営に向けた取組・活動等の支援」、「伝統文化(遺産)を活かした文化振興事業の実施」が展開されている。

いずれもコロナウイルス感染症拡大防止のため中止したり自粛したりしているが、今後、俳句や絵画・作文等、伝統文化やその遺産・文化資源を活かした文化事業を充実し、応募対象や人数等を拡充してより多くの人に伝統文化(遺産)のよさを感じ取る機会となることを期待したい。

#### < 6 > スポーツ・レクリエーションの推進

平成 28 年度に作成した第 2 次みやこ町総合計画をスポーツ振興計画と位置づけ、誰でも、いつでも気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進していくことをスポーツ推進審議会で審議し、「住民主体のスポーツ・レクリエーション活動の推進」、「競技スポーツの振興」、「既存の体育施設の有効活用と利用促進」、「指導者の育成・発掘」、「運動をすることでの健康づくりへの取組」の 5 つの主要施策が示されている。以下、特徴的な事項を記載する。

- ① 「スポーツ推進計画の策定」に向けて、スポーツ推進審議会での審議内容を公表するなどして、スポーツの振興を図っていくことを期待したい。また、「ニュースポーツの普及・推進」や「アダプテッド・スポーツの取組」に関しては、学校教育との連携も視野に入れてその内容や取組方法等を検討することを期待したい。



- ② 「オリンピック選手などトップアスリー招へい」については、極めて貴重な機会であったが、コロナウイルス感染症の影響でオリンピックが開催延期により事前キャンプが中止となった。今後の関わりとして、一過性に終わることがないように留意したい。
- ③ 「海洋性スポーツ・レクリエーション施設（B&G財団）の利用促進」については、実施できる事業について確実に実施していることを評価したい。
- ④ 「実践しやすい運動についての情報提供」や「関係団体との連携」については、「健康づくり」や「介護予防」といった視点を全面に出した情報提供を積極的に行うと共に、どこかの会場に行かなくても自宅で実施できるスポーツの在り方を提供するなど、新たな発想による競技の機会や場を提供することを期待したい。

#### 4. 全体所見

これまで主要事業の各取組について評価してきたが、最後に全体所見として2点記しておきたい。

##### (1) 「成果のある事業の継続・充実」

令和2年度におけるみやこ町教育委員会の施策については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画されていたいくつかの事業が自粛・中止または規模縮小による開催となった。特に「生涯学習のための環境整備」や「文化財・博物館の整備」、「文化芸術振興活動の推進」「スポーツ・レクリエーションの推進」に関する施策の内容に多くにみられた。しかし、その中でも実施された多くの事業に関しては、いずれの項目においても概ね着実に施されていると判断する。また、いずれの取組も計画的に実施され、その検証も確実に行われている点を積極的に評価したい。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止の中でも顕著に成果をあげている事業として、「子どもの教育環境の充実」での「関係機関の連携強化」における不登校生徒への対応、「国際理解教育・英語教育の推進」におけるGTECの実施やALTの小中学校派遣、「特別支援教育の充実」における合理的配慮協力員の配置、また、「子どもの健康を守る取組の推進」での食物アレルギーへの適切な対応、「児童・生徒の安全確保」での「安全見守り活動の充実」におけるスクールリーダー配置と連携、「スクールバスの適切な利用」における安心・安全且つスムーズな運行、さらには、「図書館の整備・充実」での「インターネットなどを活用した広報活動の充実」におけるホームページやフェイスブック等による図書館事業の周知、「図書館を活用した各種行事」における読書週間関連事業やブックリサイクル、「遺跡・文化財・博物館の整備・活用」での「全国に誇る歴史文化遺産の保存と活用」における修復・保存及び資料の利活用、「遺跡を保護するための各種調査、記録保存」における調査・保存・報告書作成等は有効な取組であり、今後も成果が大いに期待できる。

(2) 他課との連携による効果的・効率的な事業展開の継続・発展

現在、施策や事業についてはみやこ町教育委員会内の2課4係によって、主要施策の決定や取組・事業名及び担当課の決定等が行われ、担当各課を中心に必要に応じて首長部局の他課と連携して施策や事業の具体的な取組が行われている。

今後の各施策の実施のあり方として、みやこ町教育委員会としての単独事業としてのよさは残しつつも、福祉課や子育て支援課等の他部署との連携・協働事業として展開するとより効果的・効率的な事業になる施策も考えられる。積極的に他部署や幼稚園・保育所等との教育機関・施設との連携のビジョンとシステムの確立を期待したい。